

病院内での誘拐事件発生時に発動するシステム

## 「コードピンク\*」訓練のお知らせ(7月30日(金))

\*コードピンク:病院内で誘拐事件が発生したときの対応システムの一部

職員が誘拐事件の現場を目撃した時、患者さんの身柄を安全に確保するために発動されるシステム

「コードピンク」訓練は2012年から実施し、今回で4回目です。

今回の訓練は、職員に事前情報を伝えず、犯人が幼児を連れ去る想定で実施します。誘拐事件発生に対する現場での一次対応、現場からの連絡によるコードピンク発令、監視カメラによる捜索を行い探索隊への連絡、警察への情報提供までの一連の流れを訓練します。また、前回(2018年3月、昼間に新生児(人形)を使って実施)と異なり、今回は夜間帯に幼児(職員のお子さん)にご協力いただき行います。さらに、職員が普段使用しているPHSではなくトランシーバーを使って連絡を取り合うなど、実際に事件が起きた状況により近い形で夜間帯の限られた人員でどこまで実行できるのかを検証します。

新生児・幼児・小児の誘拐に限らず、患者さんが病院内から許可なく連れ去られた場合は、速やかな対応で患者さんの身柄を確保するために、院内のあらゆるシステムを活用しながら職員一丸となって行動しなければなりません。万が一に備えて、患者さんをお守りする当院のコードピンクの取り組みを、ぜひ、貴紙に取り上げて頂きたい存じます。

【実施日時】 7月30日(金) 18時～19時

【訓練場所】 聖隷浜松病院内(病棟、防災センターなど)



貴紙で取り上げて頂けるようでしたら、予め下記連絡先までご一報いただけましたら幸いです。

よろしく願いいたします。